

松田元科学技術政策担当大臣(政府代表)の第52回国際原子力機関(IAEA)総会出席等について
【平成 20 年 9 月 29 日(月)、ウィーン(オーストリア)】



IAEA総会(政府代表演説の様子)



エルバラダイ事務局長との写真

国際原子力機関(IAEA)の第52回年次総会が9月29日～10月4日にウィーンにて開催され、我が国から松田岩夫参院議員(元・内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当))が政府代表として出席し、初日の29日午後に政府代表演説を行いました。

演説では、我が国における原子力平和利用の取組みとIAEAへの貢献、さらには次期IAEA事務局長選に天野之弥ウィーン代表部大使を擁立することの表明と天野大使への支持を出席各国の代表に力強く訴えました。また、原子力の平和利用に関し、原子力発電がエネルギー安定供給と地球温暖化対策に貢献する有効な手段であることを指摘し、クリーン開発メカニズム(CDM)の対象として検討すべきと提案しました。

演説の前後には、エルバラダイ事務局長及び米、英、仏、露、印等の10ヶ国の政府代表と個別会談を行い、IAEA事務局長選での天野大使への支持を要請しました。